

地球温暖化防止への町の取り組みを問う

上野 勝 議員（自民）

町長 環境基本計画に行動指針を定める予定



無駄な電気を消す職員

質問 7月に開催される北海道洞爺湖サミットでは、国際社会が直面する緊急の課題として、地球温暖化防止を議論する。自国の削減もままならぬ状況で温室効果ガス削減に具体的に組み入れるか日本の力量が問われる。町としても策定中の環境基本計画に地球温暖化防止に向けて具体的な行動指針を定める必要がある。また、事業所などの生産活動や町民の生活活動の中で温暖化対策をとるよう指導すべきである。町

の所見を伺う。町長 策定中の環境基本計画には、町、町民、事業者それぞれの立場での行動指針を定める予定である。また、事業所や町民への

温暖化防止対策の指導については、エネルギー消費の絶対量削減に取り組むことが大切であることから、ごみ分別の徹底やリサイクルの推進、ノーレジ袋・マイバッグの推進、低公害車の導入や節電などを呼びかけ、意識改革を推進していきたいと考える。

こんな質問もありました
学力向上に向けての対策は。
教育長 授業改善を図ることが重要。

町内会・自治会に対する支援策を問う

竹嶋 久雄 議員（自民）

町長 加入促進、自主防災・防災などには

支援したい

質問 町内にある40の町内会・自治会は防災活動や防犯活動、あるいは、町をあげてのイベントへの参加協力など、コミュニティ振興の中核をなしている。町長 町の町内会加入率は、近隣市が50%を割り込む中、19年度当初63%となっているが、それでも10年前と比べ13ポイント減少している。町でもこうした世相を反映して町内会・自治会の加入率は減少の一途をたどっている。そこで、町は積極的に加入促進をはじめ町内会・自治会の活動を支援すべきと考えるが、町長の所見を伺う。



町内会活動(二本木町)

こうしたことから、町内会連合会でも加入率の減少を重要な課題として議論されている。町としても、コミュニティの充実が地域の防災・防犯能力の維持向上に有効なことから、町内会連合会が行う加入促進活動や自主防災・防災に関する活動などについて考えている。

自治基本条例の制定について

近藤 浩 議員（改革）

町長 制定は時期尚早

質問 地方分権・地方の時代が叫ばれ、まちの形は自分たちで考え、地域で選択・決定することとなった。また、多くの住民がまちづくりに参加することで、よりよいまちづくりができ、地方分権は実質的になると思う。住民協働が言われているが、町と議会・住民が協力し、生き生きと活躍するべく自治基本条例を制定すべきと考え、町長の所見を伺う。町長 この条例は、全国70自治体で制定されているが、議会と住民との意見の対立を危惧する声や住民の意見の取りまとめに長期間を要する



などの課題が指摘されている。また、制定が一種のブームとして取り上げられたことも否めない。町としては、住民との協働を進めるうえで、町の状態、地域の課題など情報の共有が重要と考えており、趣旨は理解できるが制定は時期尚早と考える。

こんな質問もありました
後期高齢者医療制度への町の対応は。
町長 国の動きを見守りたい。



町職員による出前講座

町職員による出前講座

駅西土地区画整理地内への図書館建設構想について

谷 四男美 議員（住民）

町長 次期長期総合計画に位置づける



瑞穂町図書館

質問 このほど町の方針によると、駅西土地区画整理地内に図書館を建てたいとの説明があった。駅から近く大きなメリットはあるが、基地の影響で立体的駐車場には制限があり、十分な駐車スペースはとれない。駐車場と緑の空間の充分とれる、よりベターな場所についても模索すべきと思うが、現在どのような調査計画が進行しているのか伺う。町長 図書館建設の候

補地は、駅西の広場に隣接する東京都新都市建設公社用地とJR用地を予定している。また、施設内容や駐車スペースなどについては、今後、駅西の公共施設整備計画の中で、高さ制限を受ける立地条件を踏まえ、住民の意見を伺いながら、適切に検討していく。なお、この計画については、次期長期総合計画に位置づけ、具体化を図っていく。

こんな質問もありました
殿ヶ谷区画整理事業への追加助成の理由は。
町長 地価下落、補償金の増加などにより資金援助が必要。